



大雨について知っておこう

02 災害に対する備え

雨の強さと降り方

雨量や雨の強さを表す用語が、どの程度の雨の降り方を表しているのかを知っておきましょう。

1時間雨量	10～20mm	20～30mm	30～50mm	50～80mm	80mm以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
降り方のイメージ	 ザーザーと降る雨	 どしゃ降りの雨	 バケツをひっくり返したような雨	 滝のように降る雨	 息苦しくなるような圧迫感がある雨
浸水害・洪水害の発生状況	この程度の雨でも長く続くと災害が発生するおそれがあるため注意が必要	側溝や下水、小さな川があふれる	下水管から雨水があふれる	マンホールから水が噴出する	大規模な災害が発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要
土砂災害の発生状況		小規模のがけ崩れが始まる	がけ崩れ、地すべりが起きやすい	土石流が起こりやすい	

大雨に対する心構え

①大雨対策について知っておこう

大雨に対しどのような対策をとれば良いかを知っておくと、いざというときに落ち着いて行動できます。大雨に関する情報は10日先まで入手することができるため、次の対策を図るよう心がけましょう。

- 風が強くなる前に家の外の点検をしましょう。
- 停電に備え、携帯電話の充電、懐中電灯・携帯ラジオなどを用意しておきましょう。
- 大雨の影響で断水する可能性があります。断水に備え、食料・飲料水の用意や、浴槽に水をためるなどの対策を心がけましょう。
- 避難場所を確認しましょう。

②気象情報・避難情報の意味を理解しよう！

気象災害から身を守るため、危険度の高まりに応じて注意報・警戒報・特別警戒報が段階的に発表されます。また、災害の切迫度に応じて避難情報等が5段階の警戒レベルで発表されます。これらの情報がどのような意味なのかを日頃から確認し、いざ発表されたときに速やかに対応できるように心がけましょう。

③避難する場合は「浸水が始まる前」！早めの避難を心がけよう！

浸水の中の避難は大変危険です。洪水の正しい避難行動は、浸水が始まる前に避難することです。防災ハザードマップから自宅や職場などの浸水の状況を確認し、避難する場合は早めの避難を心がけましょう。

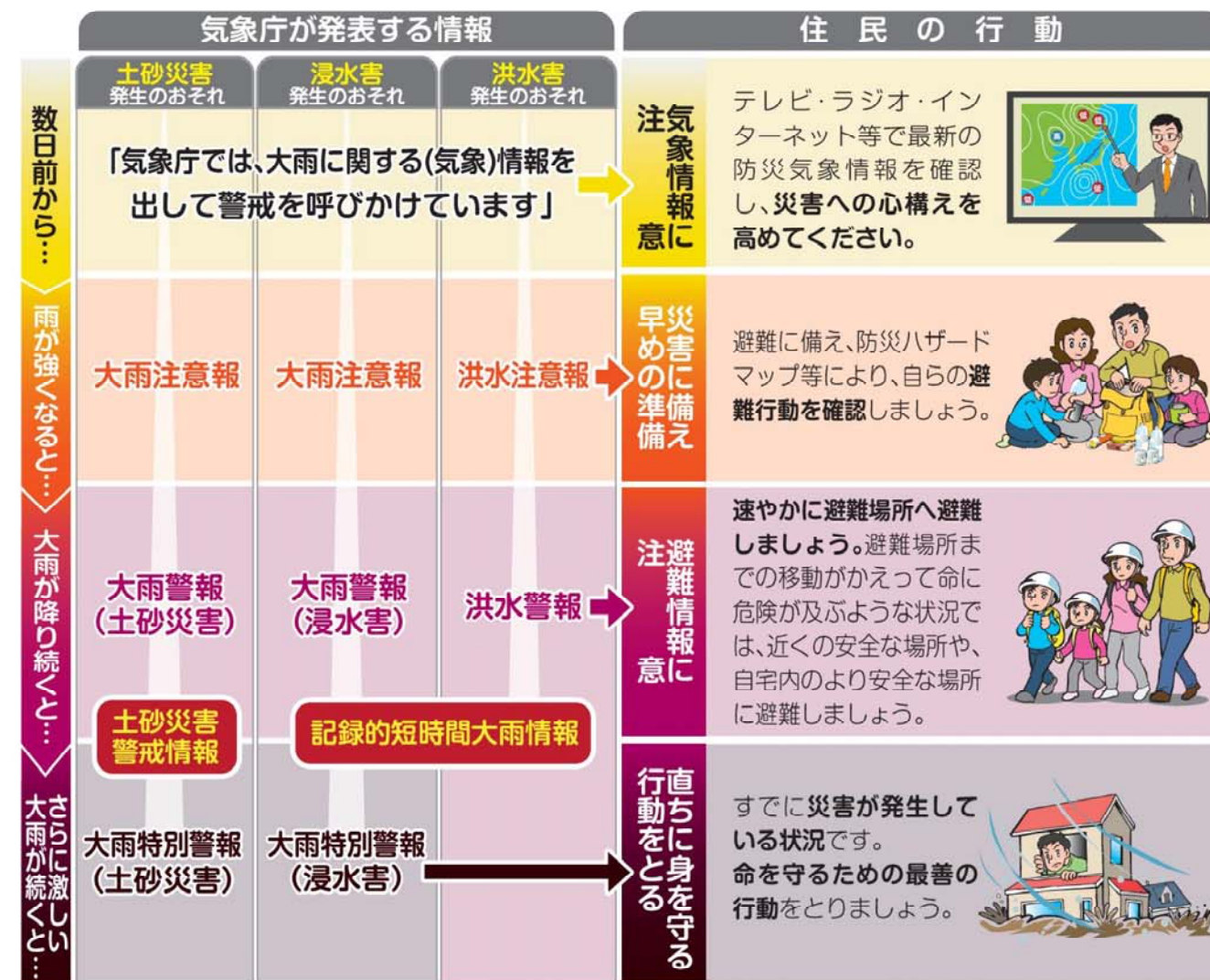


大雨に関する情報について

02 災害に対する備え

気象庁が発表する情報

災害が発生するおそれがあると予想したときは、警戒報や注意報を発表して災害に対する警戒や注意を呼びかけます。



大雨や洪水に関する

防災情報

レーダー・ナウキャスト(雨雲の動き・雷・竜巻)

レーダー観測などをもとに、1時間先まで降水、雷、竜巻の予報を5分ごとに提供しています。
<https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>

キキクル

気象庁が発表する危険度分布で、土砂、浸水、洪水による災害の危険度を5段階に色分けして、リアルタイムに表示しています。
<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>

北海道防災ポータル

北海道の防災に関する情報を発表しています。
<https://www.bousai-hokkaido.jp>

今後の雨(降水短時間予報)

レーダーとアメダスなどの観測値から作成した降水量分布、15時間先までの降水量分布の予報を提供しています。
<https://www.jma.go.jp/bosai/kaikotan/>

川の防災情報

リアルタイム雨量・水位の情報を提供しています。水防警戒、洪水予報やダム放流も通知します。
<https://www.river.go.jp/>

北海道土砂災害警戒情報システム

土砂災害による被害の防止・被害の軽減のための情報を発表しています。
<https://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/>